

オープンデータを活用した 地域活性化政策の現状と課題



第7回国際ワークショップISSI2014
「社会イノベーションを誘発する情報・システム」
2015年2月16日
横浜市政策局担当理事 長谷川孝

<特記事項>

- 本日の講演及び本資料中意見にわたる部分は講演者の私見であり、所属する組織の見解とは関係のない旨をあらかじめお断りいたします。
- 本資料の著作権は講演者が所有しています。なお、掲載している文章・写真・イラストなどの各々の情報には、第三者が著作権その他の権利を有している場合があります。
- 著作権法上認められた範囲を超える引用・転用・転載などを御希望の場合には、あらかじめ直接御相談ください。

目次

0. 自己紹介

1. オープンデータ概論

2. 横浜の挑戦

- 始まりは市民主導
- 協働・共創へ
- 現在の展開
- まとめに代えて…

0. 自己紹介

自己紹介



1994 自治省（現・総務省）入省

自治省行政課主査（地方分権改革を担当）

鹿児島県情報企画監、税務課長、財政課長など、
総務省管理課訟務専門官、選挙課企画官などを
経て

2012～ 横浜市政策局に赴任

政策支援
センター

2012.12～

電子行政オープンデータ実務者会議
構成員

facebook.com/takashi.hasegawa.39501

横浜市政策支援センター



➤ 政策立案基礎情報拠点機能

市民意識調査、将来人口推計、GIS

➤ 政策課題の調査・研究機能

横浜会議、フューチャーセッション、
市民生活白書

➤ 政策立案支援機能

各種研究会、「調査季報」（1963～）

最新刊
「横浜の人口を読む」
好評発売中！



横浜型オープンデータ推進の基盤に

「横浜市中期4か年計画2014～2017 ～人も企業も輝く横浜へ～」の特徴（イメージ図）



「横浜市中期4か年計画2014～2017 ～人も企業も輝く横浜へ～」における『創造』（抄）



1 対話による創造～民間がより活躍できる未来の横浜を創る

『ねらい』と『期待する効果』

…民間と行政の対話の場の充実や、本市が保有する情報のオープンデータ化、連携のための仕組みの活用・検討などを積極的に進め、**民間の提案やアイデアを引き出していくことにより、未来の横浜を創造していきます。**

未来を創造する対話の場を充実します

◆横浜会議・共創フォーラム

- ・様々な主体が立場の違いを超え、地域課題や社会的課題に対応し、**未来の横浜を見据えて、オープンかつ創造的に対話をする「フューチャーセッション」を積極的に展開していきます。**
- ・ICTの活用により本市の政策課題をわかりやすく提示し、民間と行政が**オープンデータに基づき、アクションを興すためのプラットフォームを構築**します。

オープンデータを推進します

- ・本市が保有する公的データをだれもが利用しやすい形で共有し、その活用を進めることにより、**地域課題・社会的課題の解決を目指していきます。**
- ・観光や子育て、医療、福祉など多彩な分野において新たなビジネスやサービスを創出し、**経済の活性化や中小企業振興を図っていきます。**

1.オープンデータ概論

「オープンデータ」の定義

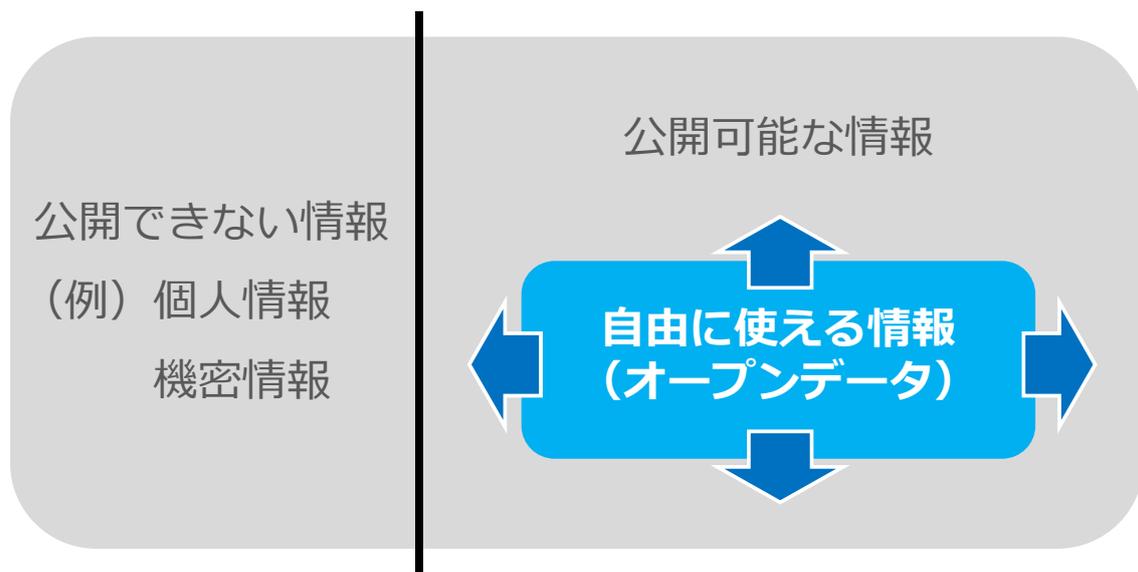


- 「公共データの民間開放」（「世界最先端IT国家創造」宣言）
- 「特定のデータが、一切の著作権、特許などの制御メカニズムの制限なしで、**全ての人**が望むように**利用・再掲載**できるような形で入手できるべきであるというアイデア」（Wikipedia）

（注）強調は講演者によるもの

- 「**開放資料**」

オープンデータ化の対象



(出典) 「智場」119特集号「オープンデータの定義・目的・最新の課題」
(庄司昌彦・国際大学GLOCOM主任研究員) 図1をもとに講演者作成

オープンデータの意義



- 透明性・信頼性向上
- 国民参加・官民協働推進
- 経済活性化・行政効率化

(参考) 電子行政オープンデータ戦略 (平成24年7月IT総合戦略本部決定)

- 自ら積極的にデータを公開
- 機械判読・二次利用を可能に
- 営利・非営利を問わず活用
- できる分野から確実に成果を

(参考) 電子行政オープンデータ戦略 (平成24年7月IT総合戦略本部決定)



政府標準利用規約（概要）



ホームページで公開しているコンテンツは、別の理由ルールが適用されるコンテンツを除き、以下に従って、自由に利用（複製、翻案等）できる。

- 出典の記載
- 第三者の権利を侵害しないようにすること
- 一定の利用形態の禁止
法令、条例又は公序良俗に反する利用や国家・国民の安全に脅威を与える利用は禁止
- 個別法令による利用の制約があるコンテンツについての注意

(以下略)

(注) 強調は講演者によるもの

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/densi/>

DATA.GO.JP



<http://www.data.go.jp/>

日本語 | English

DATA ● GO.JP データカタログサイト

新着情報 利用規約 データ オープンデータの取組 コミュニケーション 開発者向け情報 統計情報

データセットを検索...

データ

データセット 組織 グループ タグ

オープンデータの取組 (リンク集)

オープンデータに関する方針・決定
公共データ活用事例一覧
データベースサイト一覧

コミュニケーション

意見受付コーナー 意見・回答公開コーナー
掲載データ利用の御連絡

約**1.3**万件のデータセットを公開(2015.1現在)

海外のサービス事例



事例	概要	効果	主な公共データ
The Climate Corporation (米国)	地域や作物ごとの収穫被害発生確率に基づいた農業保険	経済活性化 (取扱高約3兆円)	気象データ、収穫量、土壌情報
MRIS (米国)	不動産に関する様々な情報をわかりやすく提供するサービス	経済活性化 (推定年間売上高約5,000万ドル)	人口統計、公共交通機関、教育、ヘルスケア
Fix My Street (英国)	地図データ上に住民が問題の発生を入力	公共サービス向上	地図、公共施設
Adopt-A-Hydrant Program Boston (米国)	消火栓の場所を地図上に表示するアプリ	公共サービス向上	地図、消火栓設置場所
YOU CHOOSE (英国)	市民が予算データを活用し予算削減を提案	透明性向上	予算

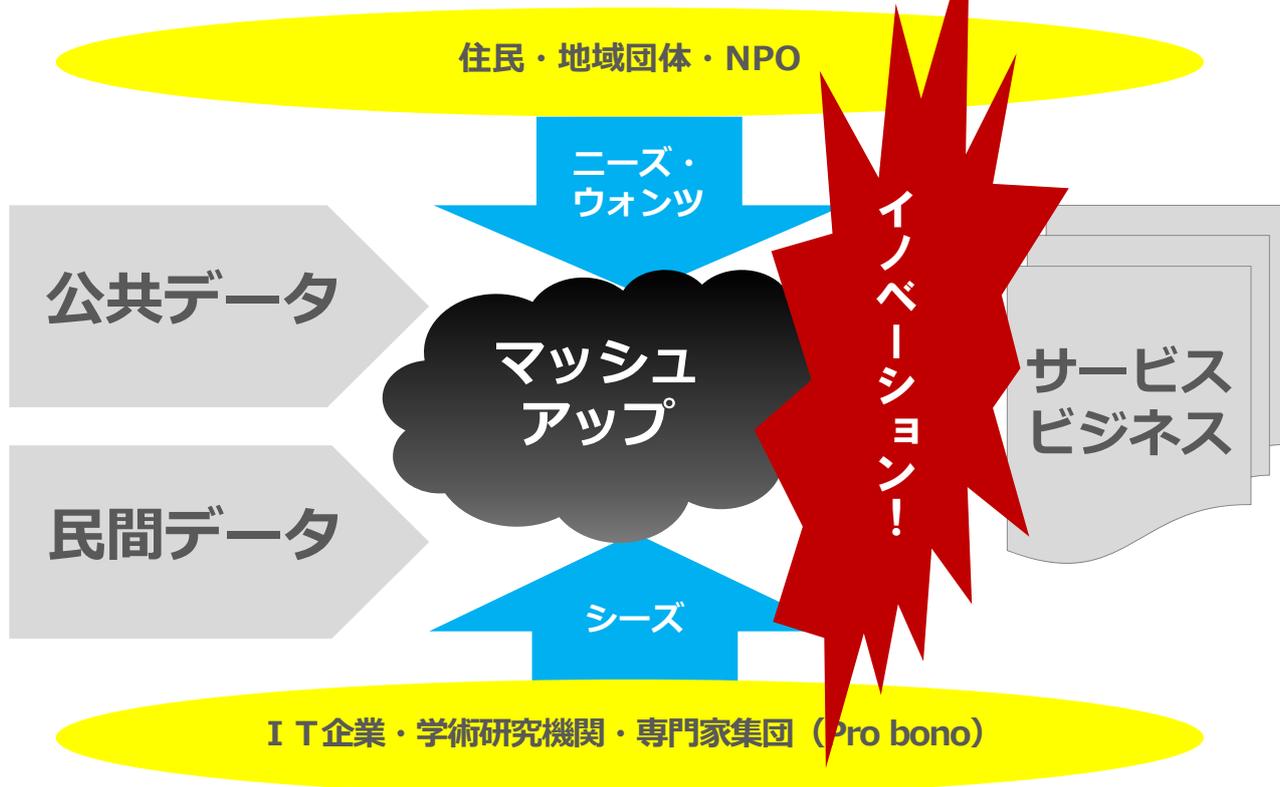
(参考事例) 米国ニューヨーク大学GovLabの研究サイト“OpenData 500”
<http://www.opendata500.com/>

主な地方公共団体の代表的な取組み



福井県鯖江市	データシティ鯖江
静岡県	ふじのくに オープンデータカタログ
千葉県流山市	マッピングパーティー、 Webアプリコンテスト
福島県会津若松市、 石川県金沢市	公共データの公開
佐賀県武雄市、千葉県千葉市、 奈良県奈良市、福岡県福岡市	ビッグデータ・オープンデータ 活用推進協議会の設置

(平成25年版情報通信白書・平成26年版情報通信白書(ともに総務省)を元に講演者作成)



2. 横浜の挑戦

「市民主導」

「協働・共創」

始まりは市民主導

オープンデータの取組みを民間側から推進 (2012.12設立)



アイデアソン・
ハッカソン



アプリ・サービス開発



イベント

Yokohama Art Spot



<http://lod.ac/apps/yas/>

WHERE DOES MY MONEY GO?



- イギリスの Open Knowledge Foundation が開発したオープンソースプログラムをもとに開発
- Open Knowledge Foundation Japanのサポートのもと、有志の方々に立ち上げ約**160**都市に拡大

WHERE DOES MY MONEY GO? 税金はどこへ行った?

あなたが横浜市に納めた税金がどこで使われているかをお示しします

[使途一日あたり](#) [使途別予算額](#) [このサイトについて](#) [データの出所](#) [開発者](#) [関連サイト](#) [お問い合わせ](#)

あなたの世帯タイプは?



単身世帯



扶養有り

年収

¥4,000,000

あなたの年間収入を選んでください

あなたの横浜市税 (年間)

¥220,200

あなたの市税は、1日当たり、どこで、いくら使われているか?



健康福祉

¥392.84



子育て・教育

¥87.19



経済・観光

¥73.93



街づくり

¥107.76



環境

¥20.05



市民

¥13.07



交通・水道

¥8.88



政策

¥5.73



資源循環

¥4.68



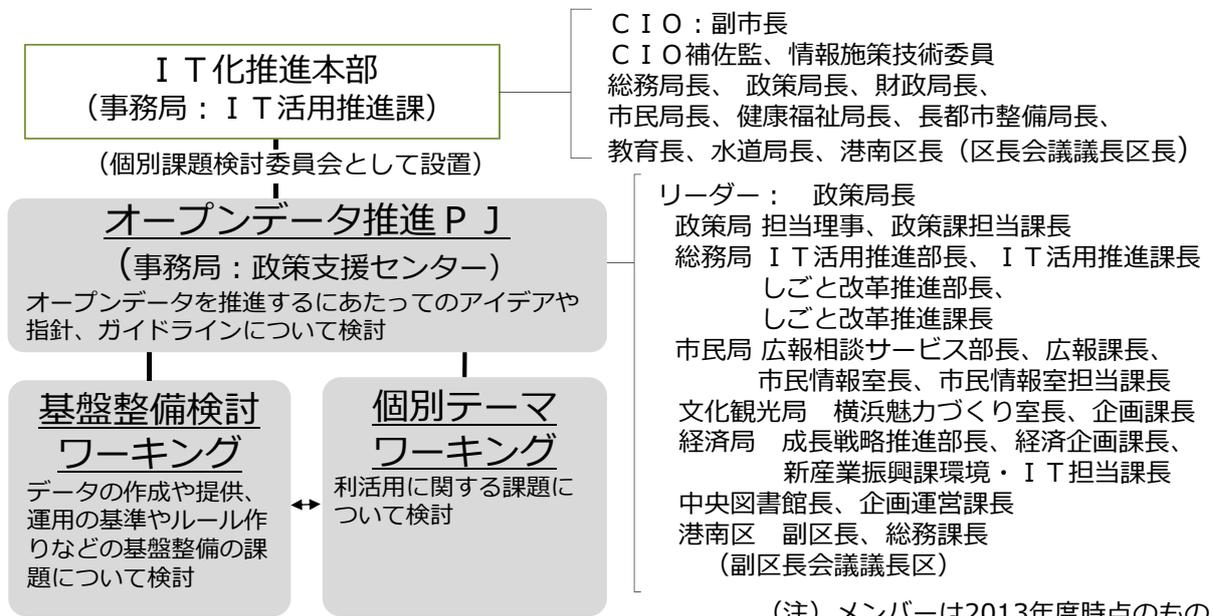
消防

¥1.96

<http://yokohama.spending.jp/>

協働・共創へ

CIOの統括のもと、政策部局を中心とした 庁内横断体制を構築



横浜市オープンデータの推進に関する指針 (2014.3 策定)

➤ 基本的な考え方

意義・基本原則・推進体制等

➤ 具体的な取組の方向性

- WebサイトをOD化の基盤として再整備
- Webサイト上の公開情報は原則OD化
- 既存データはニーズの高いものを可能なものから順次対応
- 二次利用の条件は原則CC BY

(参照) <http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/opendata/>

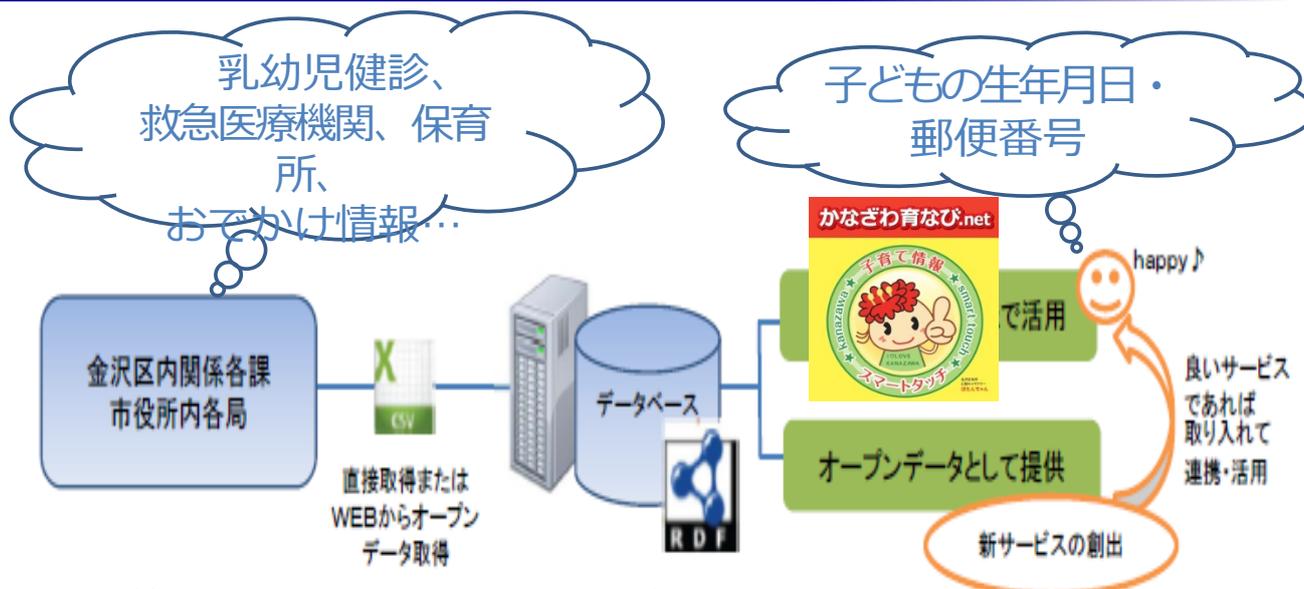
日本マイクロソフト（株）様との連携協定 (2013.7)

- 横浜ウーマンビジネスフェスタ2013
「女性の視点×オープンデータでアイデアの種を育てよう！」
- 横浜サイエンスフロンティア高校でのアプリ作成講座

…などなど



区の先行的取組み(かなざわ育なび.net)



<http://kirakana.city.yokohama.lg.jp/>

LODチャレンジ2013
審査員特別賞受賞



「みなみ・育なび」
も稼働中！

「自治体情報流通連携基盤」実証実験 (2013.9～2014.3)

- 旧東海道街歩き (2013.11)
- 左近山団地・ダイヤモンドパーク防災街歩き (2013.12)
- オープンデータ・アプリコンテスト
(2014.2)
(主催：総務省・オープンデータ流通推進コンソーシアム)



現在の展開

今年度の取組方針



- オープンデータを進める**基盤づくり**
- オープンデータを活用した**地域課題解決の仕組みづくり**
- オープンデータによる**地域経済の活性化**

(2014.6.24 市長会見にて公表)

その1：基盤づくり



- 統計データ・GISデータ等のオープンデータ化
- 市Webサイトの再構築・オープンデータ対応
- データカタログサイトの整備
- **県内自治体の連携の仕組みづくり**

旧東海道再発見！ by Code for Kanagawa



- 神奈川県共催・県内市町村が後援
- 県内9つの宿場町を**Civic Tech**で結ぶ!



11/27	アイデアソン@川崎
12/6	宿場町歩き@藤沢
12/14	ハッカソン@横浜
...	アプリを活用した町歩きイベント



まち歩きアプリ「旧東海道ARクイズツアー」で「最優秀賞(Code for Kanagawa賞)」を受賞したチーム「**ブラック研究室**」の皆様

引用元 <http://ja.idea.linkdata.org/item/image/2600/idea1s677i>

その2：地域課題解決の仕組みづくり



- 「**LOCALGOOD YOKOHAMA**」への協力
- 政策の創造と協働のための「**横浜会議**」を活用した**フューチャーセッション**等の開催
- 「**かなざわ育なび.net**」の機能拡充

■地域の社会的課題や支援団体の取組みを可視化し、市民参加を促すことで新しい公共の仕組みをつくる **ウェブプラットフォーム**

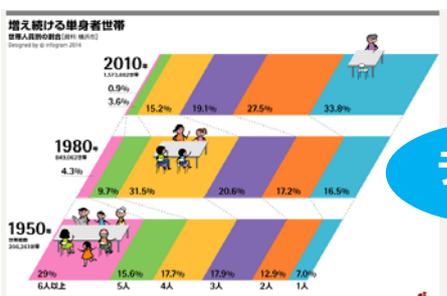
■NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボが アクセンチュア（株）様の協力を得て構築

■本市のオープンデータを活用

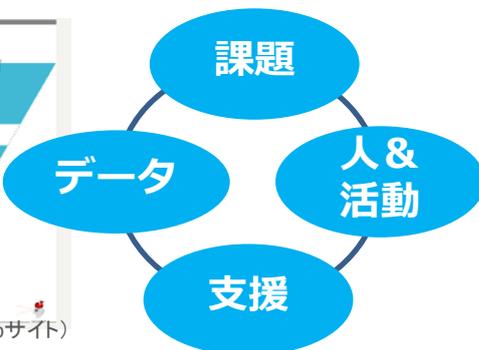


<http://yokohama.localgood.jp/>

コンテンツの概要



(引用元「LOCALGOOD YOKOHAMA」Webサイト)

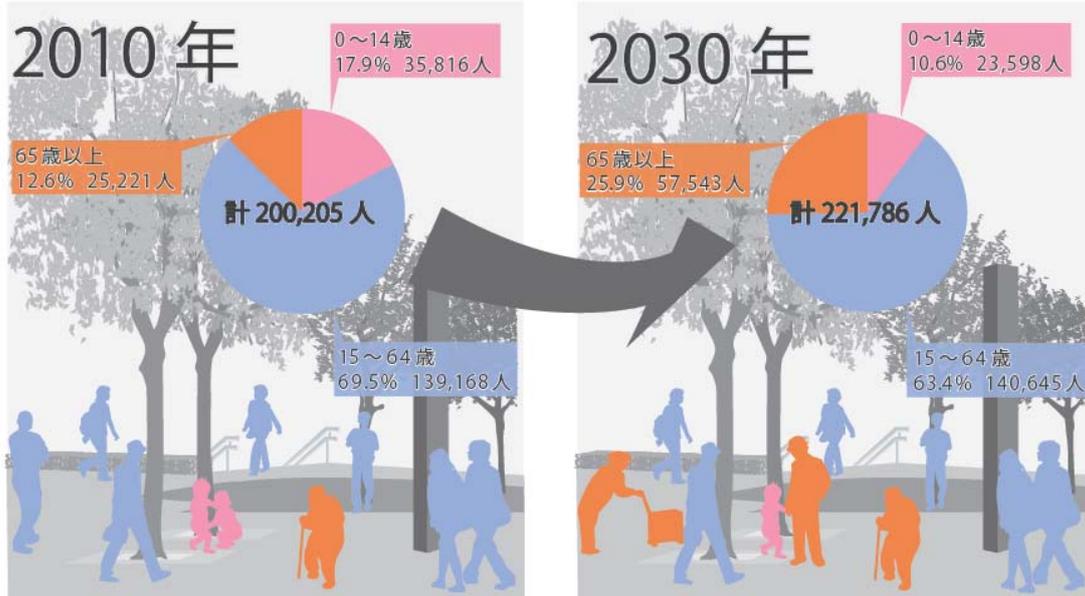


ローカルグッドニュース
2014.07.24
LOCALGOOD NEWS #102
LOCAL GOOD CAFE -ローカルグッド IN いのちの木 (仲町台)
9時30分～16:00

都筑区の人口と割合

現在と未来を10人の人口に仮定した場合の都筑区

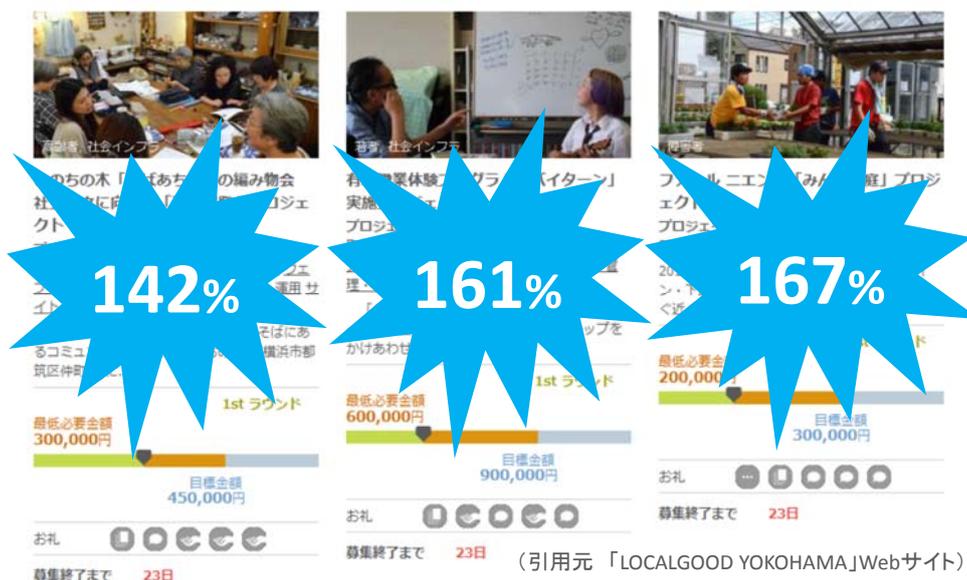
都筑区の人口と割合



(引用元 「LOCALGOOD YOKOHAMA」Webサイト (<http://yokohama.localgood.jp/data/855/>)

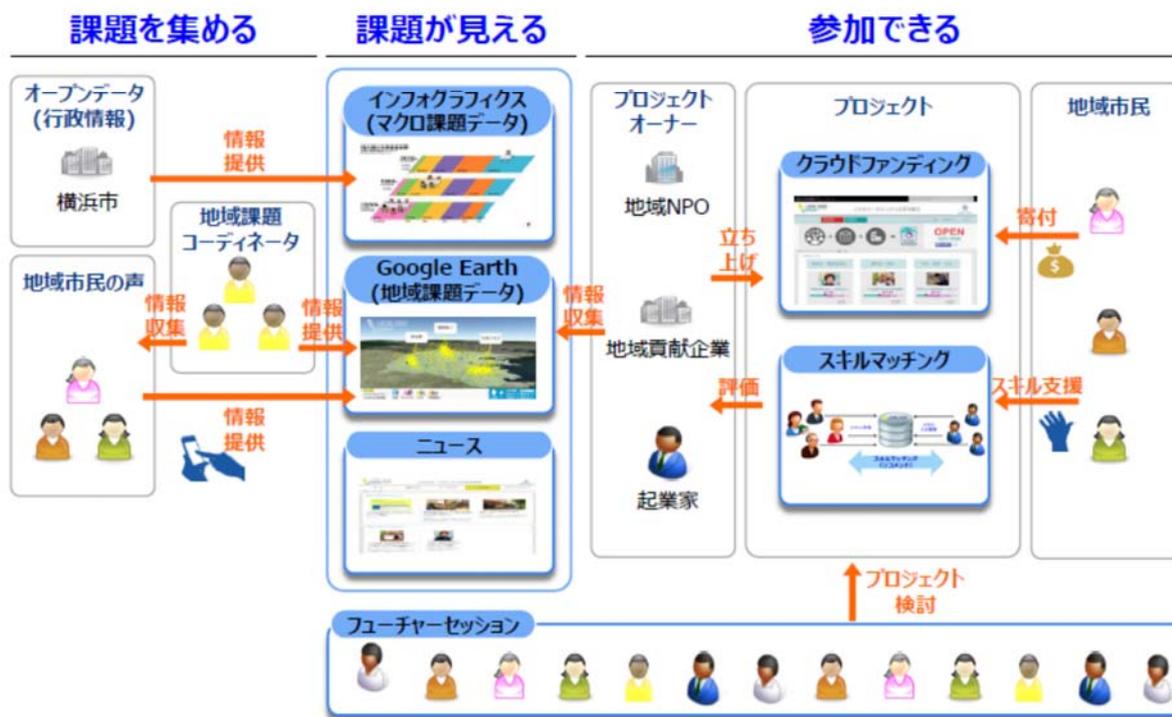
新機能追加！ (2014.10.24)

スペイン発のOSS「GOTEIO」を利用した
クラウドファンディング、スキルマッチング、
 スマホ等による投稿機能などを追加！



(引用元 「LOCALGOOD YOKOHAMA」Webサイト)

プラットフォームの全体像



OD×フューチャーセッション



様々な主体が立場の違いを超えて、未来の横浜を見据えたオープンかつ創造的な対話を積極的に展開中！

ユース・アクション！



本市の中期計画（素案・原案）を素材として、**若者**（15～25歳）を対象としたアイデアソン・ハッカソン（アプリ&データビジュアライズ）を開催！

横浜市 政策局長賞	A-Senkyo (APP) 災害への意識向上を目指して (DV)
GREE賞	震災の横浜AR (APP)
日本IBM賞	Local Town (APP)
日本マイクロ ソフト賞	横浜縦断ウルトラクイズ！ (APP) 横浜市のゴミの変化 (DV)
DeNA賞	横浜黎明期～あなたが作る未来の横浜～ (APP)

24チーム
参加！

(参照：Knowledge Connector) <http://ja.idea.linkdata.org/idea/idea1s797i>

受賞作品介绍(A-Senkyo)



A-SENKYO



- 選挙に関するデータ（投票所・投票率）をわかりやすく表示
- 横浜市立サイエンスフロンティア高校1年生のチームが作成！



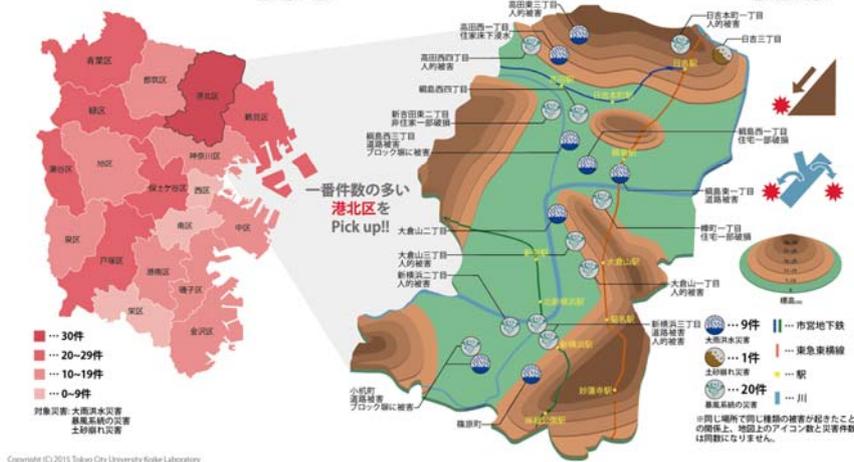
(参照：Knowledge Connector) <http://idea.linkdata.org/idea/idea1s832i>

災害への意識向上を目指して

災害は身近な場所で起きている

このグラフィックでは、平成23年～平成25年に起きた大規模水、土砂崩れ、暴風気候の災害分布を表し、標高データとともに可視化しています。既存のハザードマップでは得られない情報を加えることで災害に対してより強い意識が生まれます。

横浜市の自然災害件数分布 災害分布と等高線データから見る港北区



Copyright (C) 2015 Tokyo City University Koike Laboratory

- ハザードマップの情報を立体的に見せることでわかりやすく表現
- 東京都市大学横浜キャンパス・小池情報デザイン研究室3年生チームが作成!

(参照 : Knowledge Connector) <http://idea.linkdata.org/idea/idea1s836i>

その3 : 地域経済の活性化

- 企業ニーズの把握
- 横浜信用金庫様とのオープンデータ活用のための研究プロジェクト
- **不動産情報ストックシステムの試行 (国土交通省事業に協力)**
- 2020年をターゲットに「海外からのお客様へのおもてなし」のためのアプリ・サービスの開発

不動産情報ストックシステム（イメージ）

想定するシステムの利用場面、利用方法について

- システムは、中古住宅の売買取引の中で、主に、1)購入等希望者に対する物件案内、2)売却等依頼者から依頼された物件に関する調査の場面で宅建業者に活用されることを想定。
- システムを利用することにより、容易に情報を収集できることで、物件探しの早い段階から消費者に対しより充実した情報提供が行われることが期待される。さらにシステムから得られる情報を用い、例えば価格に関する適切な助言やリフォームに係るコンサルティング等、宅建業者による付加的なサービスの提供が促進される効果を期待。

画面イメージ

宅建業者がレインズシステム上で物件を検索する際に、あわせて情報ストックシステムの情報を参照することを想定。

物件(住所)付近の学校、病院等の周辺施設も地図上に表示
レインズ上で閲覧している、閲覧している物件の位置を画面上に表示

RM等の情報を基に周辺地域の周辺施設を表示

物件情報の詳細確認

周辺の不動産取引価格を表形式で表示
物件周辺の用途地域、建ぺい率、容積率を表示
過去の取引価格、年平均売却価格等物件に係る詳細情報を表示

資料：国土交通省土地総合情報システムIP

客付(買主側)業者が物件案内をする際の利用イメージ(例)

消費者からの物件又は周辺情報に関する様々なニーズに対し、システムの情報を参照することでの適切な助言が可能に。

消費者
客付業者
物件案内・助言

例：「同じ市内で物件を探していますが、手頃な物件を探したいのですが、予算が足りません。何かいい物件はないですか？」
→ 周辺地域を調べます。この物件は○○公園、ムクリエックが近いです！
例：「大層やな風評の噂もやと評判は悪いですか？」
→ ハザードマップを調べます。この地域は被害の可能性が低いと公表されています。
例：「子どもが大きくなったら住み替えも考えています。高層の物件も検討したいのですが、いかがですか？」
→ 近所環境が揃っていてもいいですが、リノベーションもおすすめです。

例：「学校を調べます。○○市の物産山公園の物件から隣の小学校に通えます！」
例：「周辺地域を調べます。この物件は○○公園、ムクリエックが近いです！」
例：「ハザードマップを調べます。この地域は被害の可能性が低いと公表されています。」
例：「近所環境が揃っていてもいいですが、リノベーションもおすすめです。」

元付(売主側)業者が物件調査・価格査定をする際の利用イメージ(例)

依頼を受けた物件について、システムを利用し、周辺地域の環境や取引価格推移等を参照することで、依頼者に対して適切な売り出し価格の助言を行うことが可能に。

元付業者
客付業者
物件調査・価格査定

例：「大層に売ってほしいんですけど、なかなか売れません。何かいい方法はないですか？」
→ お任せください。ちょっと調べてみますね。(情報ストックシステムで調査...)
例：「周辺地域情報を見て」
→ 近くに公園があります。大きな公園もある。スーパーも近いですし、周辺環境は良いですね。
例：「周辺計画(ハザードマップ)を見て」
→ 第一種住居地域ですが、周辺も静か。水害の心配もなさそうです。
例：「周辺取引(価格情報)を見て」
→ 最近、このあたりの物件の取引が活発ですね。人気があるエリアだと思います。価格も高水準を維持しています。
例：「近隣物件情報を見て」
→ 近隣の物件も築年数が割に新しいし...
例：「価格査定」
→ これくらいで売れるんじゃないでしょうか。買手側の動きは相場より遅めだと思います。

資料：国土交通省土地総合情報システムIP

(引用元 平成26年3月国土交通省土地・建設産業局不動産業課「不動産に係る情報ストックシステム基本構想(概要)」)

まとめに代えて...

これからの課題



- そろそろ（オープン）データ活用の「わかりやすい成果」が求められるのでは？
- そのために必要な**プラットフォーム**は？
 - ▶ データの**プラットフォーム**（データカタログ）
 - ▶ 対話の**プラットフォーム**
 - ▶ オープンイノベーションのための**プラットフォーム**
- どのように実現するか？
主体・システム・プロセス…

産・学・民・官
の連携

（再掲）オープンデータの活用モデル



ということで…（とりあえず）



「よこはまオープンデータデスク」 やっています。



企業や大学、団体の皆様からの
御提案・御意見・御要望…
お待ちしております！ by 中の人

電話:045-671-2066（政策支援センター内）

e-mail: ss-seisaku@city.yokohama.jp

今後の展開については…



ひとまず
「調査季報第176号」
（2015年3月末発刊予定）を
お待ちしております
m(_ _)m

Do it ourselves!

